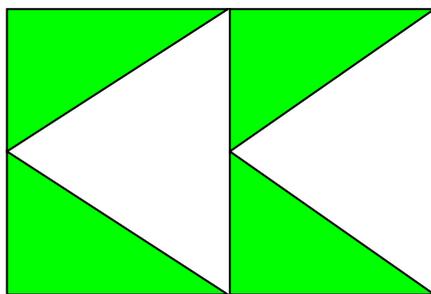


# 環境経営レポート

(活動期間:2023年4月1日～2024年3月31日)



2024年6月3日(月)発行  
有限会社 コウケン

承認 代表	作成 環境管理 責任者
香取 光	香取 光
2024.6.3	2024.6.3

# 1. 会社概要

(1) 会社名

有限会社 コウケン

(2) 代表者

代表取締役社長 香取 光

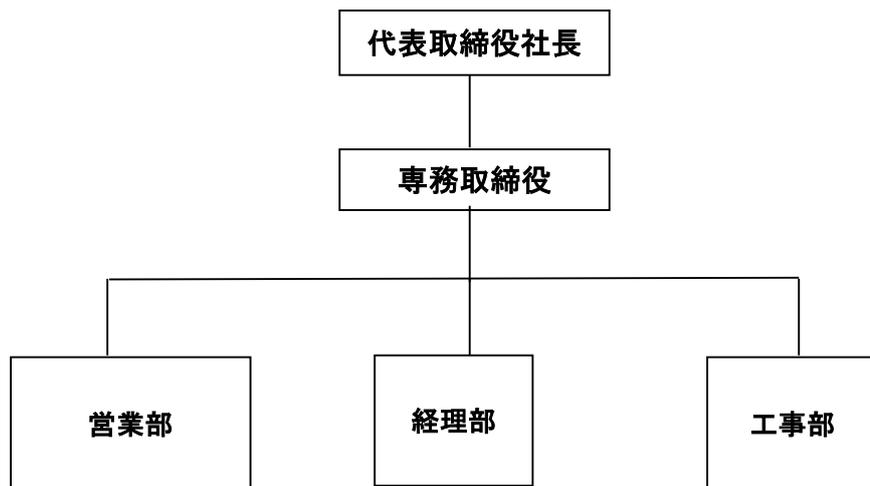
(3) 役員

専務取締役 香取 一子

取締役 香取 覺

取締役 香取 真也

(4) 組織図



(5) 創立

平成元年9月

(6) 資本金

2,000万円

(7) 所在地

〒263-0033 千葉県千葉市花見川区幕張本郷6丁目24番19号

電話 043-273-3621(代)

FAX 043-275-0551

Eメール kou@katori-1975.jp

(8) 会社履歴

平成元年9月4日

資本金300万円で 有限会社 コウケン 設立

代表取締役社長 香取 一子 就任

平成10年7月10日

資本金2,000万円に増資 現在に至る

令和2年8月1日

代表取締役社長 香取 光 就任

(9) 事業内容

①土木工事業

造成工事・外溝工事・山留め工事

②とび・土工工事業

SRC造・RC造・S造・木造 各種工事

③ほ装工事業

マンション・戸建 各種ほ装工事

④造園工事業

マンション・戸建 各種造園工事

⑤解体工事業

SRC造・RC造・S造・木造 各種解体工事

(10) 事業規模

①売上高	1億8,427万円 (2023年度)
②従業員数	5名 (2024年4月1日現在)
④事務所等	
・事務所(本社)	80.19㎡
・従業員休憩室	26.73㎡
・駐車場	125.0㎡

(11) 許認可番号

① 土木工事業	【許可番号】	千葉県知事許可(般-28)第28882号
とび・土工工事業	【有効期間】	令和4年2月7日～令和9年2月6日
ほ装工事業		
造園工事業		
解体工事業		
② 産業廃棄物収集運搬業		
	【許可番号】	【有効期間】
千葉県	第 01200052679 号	令和5年5月30日～令和10年5月7日
東京都	第 13-00-052679 号	令和4年1月22日～令和9年1月21日
【許可品目	千葉県】	ア 汚泥(建設工事に係る汚泥に限る)、イ 廃油、ウ 廃酸 エ 廃アルカリ オ 廃プラスチック類(自動車等破砕物を除く)、カ 紙くず、キ 木くず、 ク 繊維くず(建設工事に係る繊維くずに限る)、ケ 動植物性残渣 (香料製造に係るものに限る) コ 金属くず(自動車等破砕物を除く)、 サ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(自動車等破砕物を除く)、 シ がれき類(これらのうち特別管理産業廃棄物であるものを除く)
【許可品目	東京都】	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、 ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類(石綿含有産業廃棄物を含む)

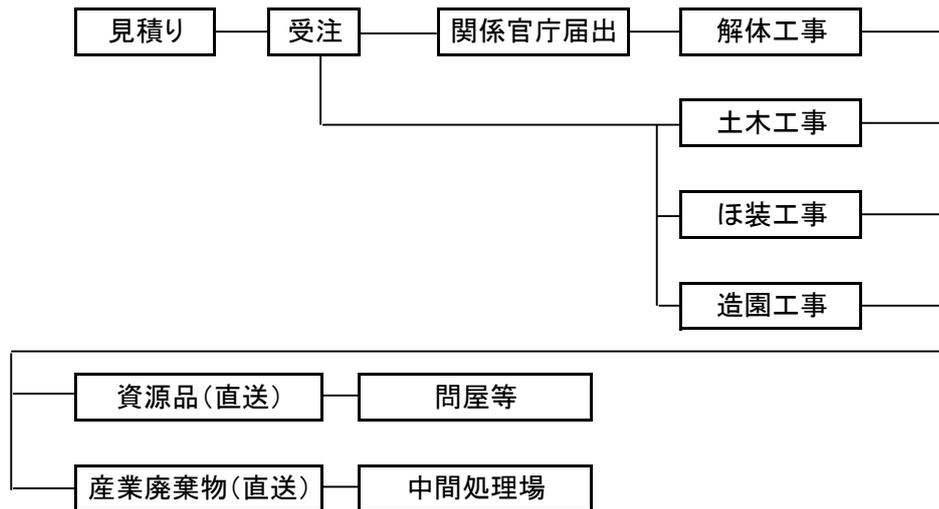
(12) 保有車両・重機

営業車	2台
-----	----

(13) 保有資格

① 一級土木施工管理技士	1名
② 解体工事施工技士	1名
③ 車輛系建設機械運転技能修了者	3名
④ 木造建築物解体工事作業指揮者	1名
⑤ コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	2名
⑥ 建築物等の鉄骨の組立て等作業主任者	1名
⑦ 足場の組立て等作業主任者	1名
⑧ 特定化学物質等作業主任者	1名
⑨ 石綿取扱作業従事者特別教育修了者	1名
⑩ 職長安全衛生責任者	1名

(14) 工事工程



(16) 工事代金

工事代金は、規模・種類・量・距離等により計算します。  
当社営業まで連絡ください。(電話 043-273-3621代)

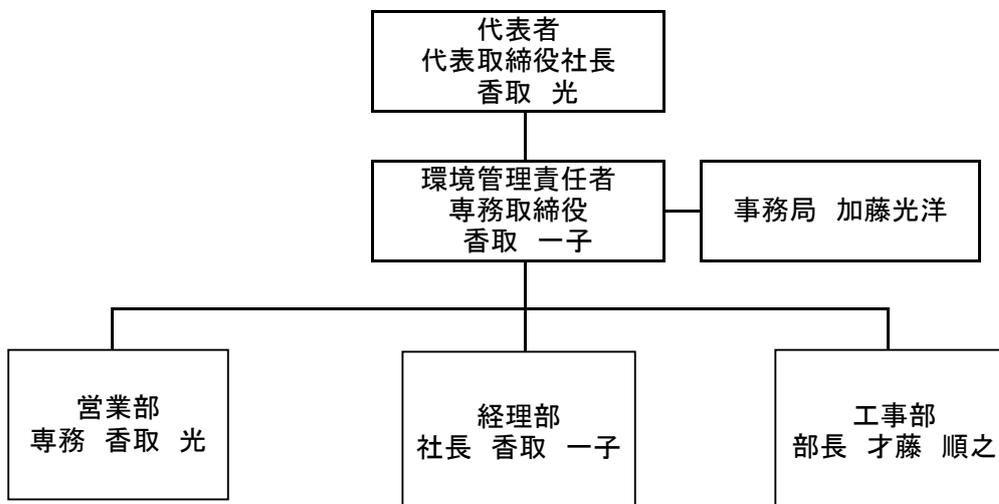
(17) 産業廃棄物関係講習会の受講状況

講習名 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物処理業の許可申請に関する講習会  
実施者 財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター  
修了日 平成28年12月15日(更新)  
修了者 香取 光

(18) 地域融和

①事業所周辺の清掃活動の実施

(19) 環境経営システム組織



(20) 環境関係責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 香取 光  
担当者 事務局 加藤光洋  
電話 043-273-3621代  
FAX 043-275-0551  
Eメール kou@katori-1975.jp

## 2. 認証・登録の範囲

認証・登録番号	0006775
認証・登録年月日	2011年3月16日
認証・登録事業者名	有限会社 コウケン
対象事業所名	本社・事務所
所在地	千葉県千葉市花見川区幕張本郷6丁目24番19号
事業活動内容	土木工事業、とび・土工工事業、ほ装工事業、造園工事業、解体工事業

### 3. 環境経営方針

## 環境経営方針

#### 基本理念

昭和51年5月建設資材の販売業を基盤として(株)香取として設立し、平成元年9月解体・土木工事業として(有)コウケンを設立し、ついで平成2年3月に千葉市事業系一般廃棄物収集運搬業として(有)ファースト商事を設立、香取グループになり、同一ビル内で共同オフィス活動を行い、地域環境及び省資源等に配慮した事業運営に真摯に取り組んでまいりました。これからは更に地球温暖化防止等地球環境保全の重要性を認識するとともに、毎日の事業活動を通して、地域社会、地域環境保全に寄与するよう努めます。

#### 活動基本方針

当社は基本理念のもと、関係法令を遵守し、次の事項を自主的、積極的に取り組むとともにEA21環境経営システムを導入し、継続的な環境負荷低減への取組・改善に努めます。

- (1) 事務所の全従業員に対して、EA21環境経営システムの理解と定着化を図ります。
- (2) 関連企業(協力業者)に対してEA21環境経営システムについての啓蒙啓発を行います。
- (3) 事務所におけるエコオフィス活動は香取グループ3社が共同で推進します。
  - ① 事務所を適正に管理し、電気、水道等の使用量の節減に努めます。
  - ② 廃棄物の分別を徹底し、排出抑制と資源化に努めます。
  - ③ グリーン購入を積極的に推進するとともに、コピー用紙等の使用量を節減します。
  - ④ 使用車両のエコドライブに努めます。
  - ⑤ 事務所周辺の清掃を行います。
- (4) 現場で次の環境活動を実施します。
  - ① 現場における公害対策等に万全を期します。
  - ② 現場における建設副産物の分別を徹底し、資源化の推進と廃棄物の削減に努めます。
  - ③ 省エネと環境に配慮した解体工事、舗装工事、外構工事を施主へ提案します。
  - ④ 使用車両および建設重機のエコ安全ドライブに努めます。
  - ⑤ 工事現場の整理・整頓・清掃に努めます。
  - ⑥ 工事用資材のグリーン購入に努めます。
- (5) 環境経営レポートは一般に公開します。

制定： 2009年3月16日

改訂： 2024年1月13日

有限会社 コウケン

代表取締役社長

香取 光

## 4. 環境負荷の実績

(1) 負荷の実績は事務所と現場を分けて把握しました。

(2) 2023年度全社の環境負荷実績は表-1のとおりです。

※購入電力の排出係数：2023年1月24日環境省発表「2022年度の電気事業者ごとの調整後排出係数（東京電力エナジーパートナー）」を使用(0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

表-1 《全社》

環境への負荷		量		CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※	2,433.33	kWh	1,073.10	12.9%
	ガソリン	1,449.33	ℓ	3,362.45	40.4%
	軽油	1,505.00	ℓ	3,882.90	46.7%
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m <sup>3</sup>		
	液化石油ガス (LPG)		kg		
	液化天然ガス (LNG)		kg		
	合計 (エネルギー)			8,318.45	100%
	一般廃棄物総排出量	288.27	kg	/	
産業廃棄物総排出量	9.68	t			
中間処理	9.68	t			
うち再資源化量	9.68	t			
最終処分 (埋立) 量		t			
再資源化率	100%	%			
使用 水量					
上水		m <sup>3</sup>			
工業用水		m <sup>3</sup>			
地下水	未計測	m <sup>3</sup>			
化学物質使用量					



(3) 2023年度の事務所及び現場の環境負荷実績は表-2（事務所）、表-3（現場）のとおりです。

※購入電力の排出係数：2023年1月24日環境省発表「2022年度の電気事業者ごとの調整後排出係数（東京電力エナジーパートナー）」を使用(0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

表-2 《事務所》

環境への負荷		量		CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※	2,433.33	kWh	1,073.10	24.2%
	ガソリン	1,449.33	ℓ	3,362.45	75.8%
	軽油		ℓ		
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m <sup>3</sup>		
	液化石油ガス (LPG)		k g		
	液化天然ガス (LNG)		k g		
	合計 (エネルギー)			4,435.55	100%
一般廃棄物総排出量		288.27	k g	/	
産業廃棄物総排出量			t		
中間処理			t		
うち再資源化量			t		
最終処分 (埋立) 量			t		
再資源化率			%		
使用 水量	上水		m <sup>3</sup>		
	工業用水		m <sup>3</sup>		
	地下水		m <sup>3</sup>		
化学物質使用量					

表-3 《現場》

環境への負荷		量		CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	割合 (%)
エネルギー 使用量	電力 ※1		kWh		
	ガソリン		ℓ		
	軽油	1,505.00	ℓ	3,882.90	100.0%
	灯油		ℓ		
	A重油		ℓ		
	都市ガス		m <sup>3</sup>		
	液化石油ガス (LPG)		k g		
	液化天然ガス (LNG)		k g		
	合計 (エネルギー)			3,882.90	100%
一般廃棄物総排出量			k g	/	
産業廃棄物総排出量		9.68	t		
中間処理		9.68	t		
うち再資源化量		9.68	t		
最終処分 (埋立) 量			t		
再資源化率 ※2		100.00	%		
使用 水量	上水 ※1		m <sup>3</sup>		
	工業用水		m <sup>3</sup>		
	地下水	未計測	m <sup>3</sup>		
化学物質使用量					

※1 電力及び水資源は発注者の支給

※2 全て中間処理業者へ持ち込みの為

## 5. 今後の目標と計画(2023年度～2025年度の中期目標)

基準年を2022年度とした今後3か年の中期目標は次の通りです。

中期目標の設定は事務所と現場(解体工事と建築工事等)毎に設定しました。

※購入電力の排出係数:2023年1月24日環境省発表「2022年度の電気事業者ごとの調整後排出係数(東京電力エナジーパートナー)」を使用(0.441kg-CO<sub>2</sub>/kWh)

### 《事務所》

項目	単位	基準年 2022年度 実績	2023年度		2024年度		2025年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	3,805	3,767	1.00	3,762	1.13	3,743	1.63
全従業員への指導と定着	回	-	毎月実施	-	毎月実施	-	毎月実施	-
関連企業への啓蒙啓発	回	-	月1回以上	-	月1回以上	-	月1回以上	-
電力の節減	kWh	2,292	2,269	1.0	2,257	1.5	2,246	2.0
地下水の節減	ℓ	未把握	-	節水の実施	-	節水の実施	-	節水の実施
事務所廃棄物の削減	kg	582	582	維持	582	維持	582	維持
グリーン購入の推進	品目	9	10	-	11	-	12	-
用紙の節約	枚	34,667	34,320	1.0	33,973	2.0	33,627	3.0
営業車ガソリンの節減	ℓ	1,204.0	1,192	1.0	1,192	1.0	1,186	1.5
営業車の燃費向上	km/ℓ	15.20	15.35	1.00	15.43	1.50	15.50	2.00
地域環境保全活動	回	-	月1回	-	月1回	-	月1回	-

### 《現場》

項目	単位	基準年 2022年度 実績	2023年度		2024年度		2025年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	7,005	6,970	0.5%	6,900	1.5%	6,865	2.0%
軽油の節減(重機)	ℓ	2,715	2,701	節減率0.5%	2,674	節減率1.5%	2,661	節減率2.0%
運搬車両のエコドライブ活動(協力会社への指導/現場毎)	-	-	全現場	実施	全現場	実施	全現場	実施
重機のエコドライブ活動(協力会社への指導/現場毎)	-	-	全現場	実施	全現場	実施	全現場	実施
解体現場の公害対策	-	全現場	全現場	実施	全現場	全解体現場	全現場	全解体現場
建設副産物の14分別	-	全現場	全現場	実施	-	実施	-	実施
協力会社への環境教育の推進	回	12	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上
グリーン購入の促進	品	32	実行	-	実行	-	実行	-

※電力及び水資源は発注者の支給

## 6. 主な環境目標とその実績

### (1) 環境目標の設定

環境目標は事務所と現場(解体工事と建築工事等)毎に設定しました。

### (2) 2023年度の環境目標および実績等

#### 《事務所》

項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度			取り組み状況等	次年度の 取組
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
二酸化炭素排出量の削減	kg	3,805	3,767	4,436	118%	節電、エコ安全ドライブを心掛けましたが、未達となりました	継続
全従業員への指導と定着	回	1/月	1/月	1/月	-	意識定着ができた	継続
関連企業への啓蒙啓発	回	1以上 /月	1以上 /月	1以上 /月	-	意識定着ができた	継続
電力(100V)の節減	kWh	2,292	2,269	2,433	107%	節電を心掛けましたが、未達となりました	継続
地下水の節減	定性	-	-	-	-	節水に努めています	継続
一般廃棄物の削減	kg	582	582	536	92%	紙ごみの発生防止につとめています	継続
グリーン購入の促進	品目	9	10	9	-	グリーン購入の優先購入をしています	継続
用紙の節約	枚	34,667	34,320	39,167	114%	裏紙の使用を心掛けましたが未達となりました	継続
営業車がソリの節減 (エコ安全ドライブの実施)	ℓ	1,204.0	1,192	1,449	122%	エコ安全ドライブを心掛けましたが未達となりました	継続
営業車の燃費向上 (エコ安全ドライブの実施)	km/ℓ	15.20	15.35	14.34	93%	エコ安全ドライブを心掛けましたが未達となりました	継続
地域環境保全活動	回	月1回	月1回	月1回	-	事務所前道路の清掃、雪かき実施など	継続

#### 《現場》

項目	単位	2022年度 (基準年)	2023年度			取り組み状況等	次年度の 取組
		基準値	目標値	実績値	目標値比		
二酸化炭素の削減	kg	7,005	6,970	3,883	56%	燃料計上先の変更で達成し過ぎとなった	継続
軽油の節減(重機)	ℓ	2,715	2,701	1,505	56%	燃料計上先の変更で達成し過ぎとなった	継続
運搬車両のエコドライブ活動 (協力会社への指導/現場毎)	-	全現場	全現場	実施	-	月例会議・朝礼等を使い徹底できた 18現場実施	継続
重機のエコドライブ活動(協力 会社への指導/現場毎)	-	全現場	全現場	実施	-	月例会議・朝礼等を使い徹底できた 18現場実施	継続
解体現場の公害対策	-	全現場	全現場	実施	-	月例会議・朝礼等を使い徹底できた 18現場実施	継続
建設副産物の14分別	-	全現場	全現場	実施	-	月月例会議・朝礼等を使い徹底できた 18現場実施	継続
協力会社への環境教育の推進	回	12	12	12	100%	月例会議・朝礼等を使い徹底できた	継続
グリーン購入の促進	品	32	実行	26	-	月例会議・朝礼等を使い徹底できた	継続

※電力及び水資源は発注者の支給

## 7. 2023年度の主要な環境活動計画の内容

(1) 主な活動計画内容と取り組み結果の評価及び次年度の取組み

### 《事務所》

環境目標項目	取組み	結果	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	①電力(100V)の節減を参照	○	ガソリン量の増加、猛暑もあり二酸化炭素の排出が未達となりました	継続
	②ガソリンの節減を参照	△		継続
全従業員への指導と定着	①朝礼	○	月例会議・朝礼等を通じて、エコ安全ドライブ意識は定着してきている	継続
	②月例会(エコ安全ドライブ)	○		継続
	③企画会議	○		継続
関連企業への啓蒙啓発	①月例会(エコ安全ドライブ)	○	月例会議・朝礼等を通じて意識の徹底ができた	継続
電力(100V)の節減	①冷房28℃以上、暖房20℃以下	△	夏場の暖房と冬場の要暖房の季節には特に注意すること	継続
	②照明は必要箇所・必要時のみON	○		継続
	③パソコンの自動電源OFF	○		継続
	④コピーファックスの省エネモード設定	○		継続
	⑤蛍光管の省エネタイプへの交換	○		廃止
地下水の節減	①洗い物の一括作業	○	決められた項目を守れた	継続
	②「節水」の掲示	○		継続
	③節水コマの使用	○		継続
一般廃棄物の削減	①ゴミの分別(ビン・缶・ペットボトル・可燃)	○	分別の大切さが浸透し徹底出来ている	継続
	②古紙・段ボールのリサイクル	○		継続
	③通い弁当	△		継続
グリーン購入の促進	①グリーンマーク商品を購入	○	グリーンマーク対象商品の優先購入出来ている	継続
用紙の節減	①両面コピーの徹底	○	裏紙使用の再徹底、電子化を進めて下さい	継続
	②電子化による紙使用量節減	○		継続
営業車ガソリンの節減 (エコ安全ドライブの実施)	①効率的なコースの検討	○	月例会議・朝礼等を通じて、エコ安全ドライブ意識は定着してきている	継続
	②公共交通機関の活用	○		継続
営業車の燃費向上 (エコ安全ドライブの実施)	①ふんわりアクセル	○	月例会議・朝礼等を通じて、エコ安全ドライブ意識は定着してきている	継続
	②エンジン2000/分回転以下	○		継続
	③急発進、急停車の抑制	○		継続
	④タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	⑤暖気運転をしない(冬季は特に注意)	○		継続
地域環境保全活動	①事業所周辺の清掃活動	○	毎月定期的に継続実施して下さい	継続

《現場》

環境目標項目	取り組み	結果	評価	次年度の取り組み
二酸化炭素排出量の削減	①重機軽油使用量の削減	○		継続
軽油の節減(重機)	①急発進、急停車の抑制	○	エコ安全ドライブは徹底できています	継続
	②暖気運転をしない(特に冬季)	○		継続
運搬車両のエコドライブ活動 (協力会社への指導 /現場毎)	①急発進、急停車の抑制	○	今年度も更に、エコドライブが定着できた	継続
	②積込時のアイドリングストップの実施	○		継続
	③エンジン2,000回転/分以内 早めのシフトアップ(空車時)	○		継続
	④ふんわりアクセルの実施	○		継続
	⑤収集コースの短縮化	○		継続
	⑥タイヤ空気圧の定期点検の実施	○		継続
	⑦排気ブレーキの積極的利用	○		継続
重機のエコドライブ活動 (協力会社への指導 /現場毎)	①建設重機のアイドリングストップ	○	今年度も更に、エコドライブが定着できた	継続
	②建設重機の全開性能での使用抑制	○		継続
	《重機運転については騒音などを考慮し、非 能率にならない範囲で全開性能を確保する》	○		継続
解体現場の公害対策	①低公害型重機の使用	○	公害意識の徹底ができた	継続
	②防音シートの設置	○		継続
	③養生シートの設置	○		継続
	④現場及び近隣の清掃実施	○		継続
建設副産物の14分別	①建設副産物の分別の徹底	○	分別の必要性を理解して徹底できた	継続
協力会社への環境教育 の推進	①環境活動計画のEA21の運用 とその結果の確認	○	計画通り実施した。	継続
グリーン購入の促進	①再生工事用資材の購入	○	計画通り実施した。	継続

(2) 中期(2023年度~2025年度)環境経営目標

目標項目	単位	基準年実績 2022年度	2023年度		2024年度		2025年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	7,005	6,970	削減率0.5%	6,900	削減率1.5%	6,865	削減率2.0%
軽油の節減(重機)	ℓ	2,715	2,701	節減率0.5%	2,674	節減率1.5%	2,661	節減率2.0%
運搬車両のエコドライブ活動(協力 会社への指導/現場毎)	-	-	全現場	実施	全現場	実施	全現場	実施
重機のエコドライブ活動(協力会 社への指導/現場毎)	-	-	全現場	実施	全現場	実施	全現場	実施
解体現場の公害対策	-	全現場	全現場	実施	全現場	全解体現場	全現場	全解体現場
建設副産物の14分別	-	全現場	全現場	実施	-	実施	-	実施
協力会社への環境教育の推進	回	12	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上	月1回以上
グリーン購入の促進	品	32	実行	-	実行	-	実行	-

目標項目	単位	基準年実績 2022年度	2023年度		2024年度		2025年度	
			目標値	増減率	目標値	増減率	目標値	増減率
二酸化炭素の削減	kg	3,853	3,814	削減率1.00%	3,809	削減率1.14%	3,790	削減率1.64%
全従業員への指導と定着	回	-	毎月実施	-	毎月実施	-	毎月実施	-
関連企業への啓蒙啓発 (ファースト商事は除く)	回	-	月1回以上	-	月1回以上	-	月1回以上	-
電力(100V)の節減	kWh	2,292	2,269	節減率1.0%	2,257	節減率1.5%	2,246	節減率2.0%
地下水の節減	ℓ	未把握	-	節水	-	節水	-	節水
一般廃棄物の削減	kg	582	582	維持	582	維持	582	維持
グリーン購入の促進	品目	9	10	-	11	-	12	-
用紙の節約	枚	34,667	34,320	節減率1.0%	33,973	節減率2.0%	33,627	節減率3.0%
営業車ガソリンの節減 ※	ℓ	1,204	1,192	節減率1.0%	1,192	節減率1.0%	1,186	節減率1.5%
営業車の燃費向上	km/ℓ	15.20	15.35	向上率1.0%	15.43	向上率1.5%	15.50	向上率2.0%
地域環境保全活動	回	-	月1回	-	月1回	-	月1回	-

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

①次の環境関連法規等の要求事項、遵守状況等を一覧表に取りまとめ確認・評価をした。

### 《事務所》

廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)  
特定家庭用機器再資源化法(家電リサイクル法)  
使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律(小型家電リサイクル法)  
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)  
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)  
労働安全衛生法  
使用済自動車の再資源化に関する法律(自動車リサイクル法)  
道路運送車両法  
道路交通法  
消防法

### 《現場》

建設業法  
建設工事に係る資材の再資源化に関する法律(建設リサイクル法)  
再生資源の利用の促進に関する法律(ラージリサイクル法)  
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法)  
石綿障害予防規則(労働安全衛生法)  
騒音規制法  
振動規制法  
大気汚染防止法  
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)  
使用済み自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)  
国等による環境物品等の調達を推進等に関する法律(グリーン購入法)  
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)  
ダイオキシン類対策特別措置法  
道路運送車両法  
道路交通法  
自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量削減等に関する特別措置法(自動車NOx・PM法)  
千葉県ディーゼル自動車から排出される粒子状物質の排出の抑制に関する条例  
高圧ガス保安法  
消防法(車両消火器)

②環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

2024年4月20日に遵守状況を確認しましたが、違反・逸脱はありません。  
なお、関係当局より違反等の指摘及び訴訟等は、過去3年間ありません

## 9. 環境活動の取り組み結果の総合評価

2023年度の環境活動は、2022年度を基準年に目標設定して取り組んできました。工事現場の軽油は、大幅に削減できましたが、燃料計上先の変更及び工事内容が原因です。今後、工事の受注内容を踏まえて目標設定を変更するか注視してください。

事務所は、営業車のガソリン使用量削減及び燃費向上は未達となりましたが、月例会議・朝礼等を通じて、エコ安全ドライブ意識は定着してきている。また、新人・協力会社に対してもエコアクション21教育を継続しました。今後もエコドライブ・節電及び工事における建設副産物の再資源化、騒音・振動・粉じん対策、近隣への環境配慮に努めて参ります。



認証番号0006775

この環境活動レポートは、ご希望があれば差し上げています  
ご希望の方は下記事務所窓口までお申し出ください  
なお、エコアクション21中央事務局のHPでもご覧になれます  
( <http://www.ea21.jp/> )

## 有限会社 コウケン

☎ 263-0033

千葉県花見川区幕張本郷6丁目24番19号

☎ 043-273-3621(代)

📠 043-275-0551

Email [kou@katori-1975.jp](mailto:kou@katori-1975.jp)